

おとなのワクチン第9回 「渡航ワクチン」



講師
宮田智仁
副院長



皆さんこんにちは。今回は「渡航ワクチン」の話をしていきます。

海外へ行くときの留意点は？

渡航ワクチンとは、海外に行くときに必要なワクチンの事です。国々で流行する疾患が異なり、またそので何処に行くかによって必要なワクチンが異なってきますので、まとめて「渡航ワクチン」としてお話しします。

現在は新型コロナウイルス感染症の海外へ旅行することを自粛しておられると思いますが、海外へ渡航する日本人は年々増えており年間延べ2000万人(6人に1人)に達しようとしているようです。また現状が落ち着いたとしても、まだ見通しが立ちません。コロナ感染症が終息したら海外旅行を考えておられる方も多いのではないのでしょうか。

自分に必要なワクチンは？

熱病対策の黄熱ワクチンだけは、接種証明書がないと入国できない場合がある。旅行会社さんにも必ず話をしてみてください。それ以外のワクチンについては旅行会社さんが教えてくれることは恐らくありません。ワクチンには自己責任で接種しないといけないものなのです。

では、「自分に必要なワクチンには何かあるの？」となりませよ。そんな時に役に立つのが、厚生労働省検疫所FORTHというサイトです。とてもよくまとめたサイトで医療者もこのサイトを



厚生労働省検疫所 FORTH

(<https://www.forth.go.jp/index.html>)

を参考にしてお客さんの診察に当たっています。短期観光目的から長期・冒険旅行目的別に渡航先別に必要はワクチンが何かを教えてください。例えば、フィリピンに旅行に行こうと計画したときに必要なワクチンを見てみると、A型肝炎、B型肝炎、破傷風、ポリオ、(狂犬病：犬や野生動物と接触する可能性がある場合) (日本脳炎：農村部に長期滞在する場合)と出てきます。アメリカ合衆国なら、破傷風だけですが、お隣韓国でもA型肝炎、B型肝炎、破傷風、(日本脳炎：農村部に長期滞在する場合)となっていて印象があるかもしれない。反対に日本にくる海外の方にも同じように必要なワクチンがあるはず。自分たちの生まれ育った国のワクチン制度や流行している病気によってそれは異なってきます。

基本のワクチン接種は？

忘れてはならないのは、自国で定期接種となっている基本ワクチンはき

ちり打っておく必要があるという事です。フィリピン(例で麻疹(はしか)が出てきませんでしたが、日本における麻疹の最大の感染源は現在フィリピンに旅行した方々の持ち込む麻疹です。基本ワクチンをちゃんと接種しているかをきちんと確認しましょう。ワクチン接種について注意すべき点の一つとして接種スケジュールです。ワクチンは接種すると次の接種まで期間を置かないといかないルールがあります。生ワクチンの接種後4週間(他のワクチンが打たれてなくなります。またワクチンの効果が発揮されるまで数週間かかります。余裕をもった旅行プランを建ててください。



FORTHはこちらのQRコードからでもご覧になれます

ワクチンの話は今回で最後です。今はやくコロナウイルスワクチンが開発されることを願っています。